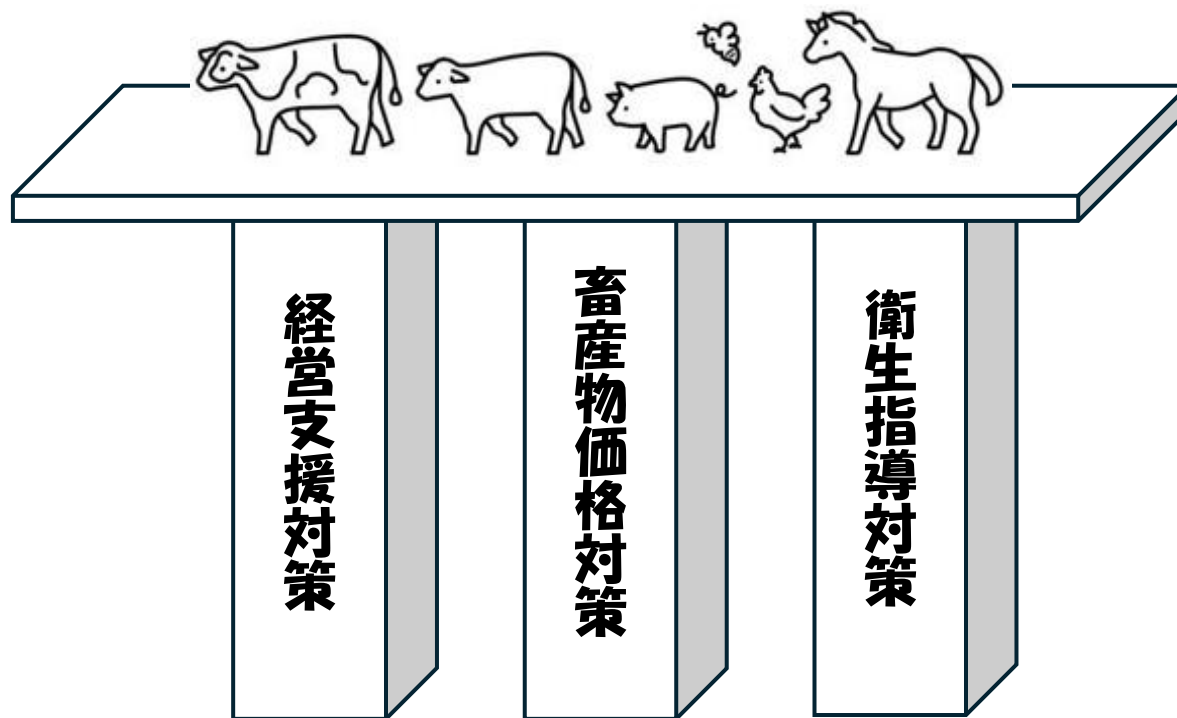


公益社団法人宮崎県畜産協会の 業務概要・重点取組



令和8年9月3日（木）



MLiA

公益社団法人 宮崎県畜産協会の概要

1 設立目的

農業者等の畜産経営の安定・発展、家畜衛生の向上並びに家畜の円滑な流通等に貢献し、もって畜産の振興と消費者への畜産物の安定供給に寄与する。

2 沿革

平成18年10月 畜産関係4団体※を再編統合し、(社)宮崎県畜産協会を設立

※(社)宮崎県畜産会(昭和31～)、(社)宮崎県肉用子牛価格安定基金協会(昭和43年～)(社)宮崎県家畜畜産物衛生指導協会(昭和47年～)、(社)宮崎県養豚協会(昭和55～)

平成24年4月(公社)宮崎県畜産協会へ移行

3 会員数

- (1) 正会員 43団体(農業団体、畜産団体、畜産関係会社、県、市町村)
- (2) 準会員 18団体(畜産関係会社)

4 役員

- (1) 理事 25名(会長：JAみやざき副組合長)
- (2) 監事 2名

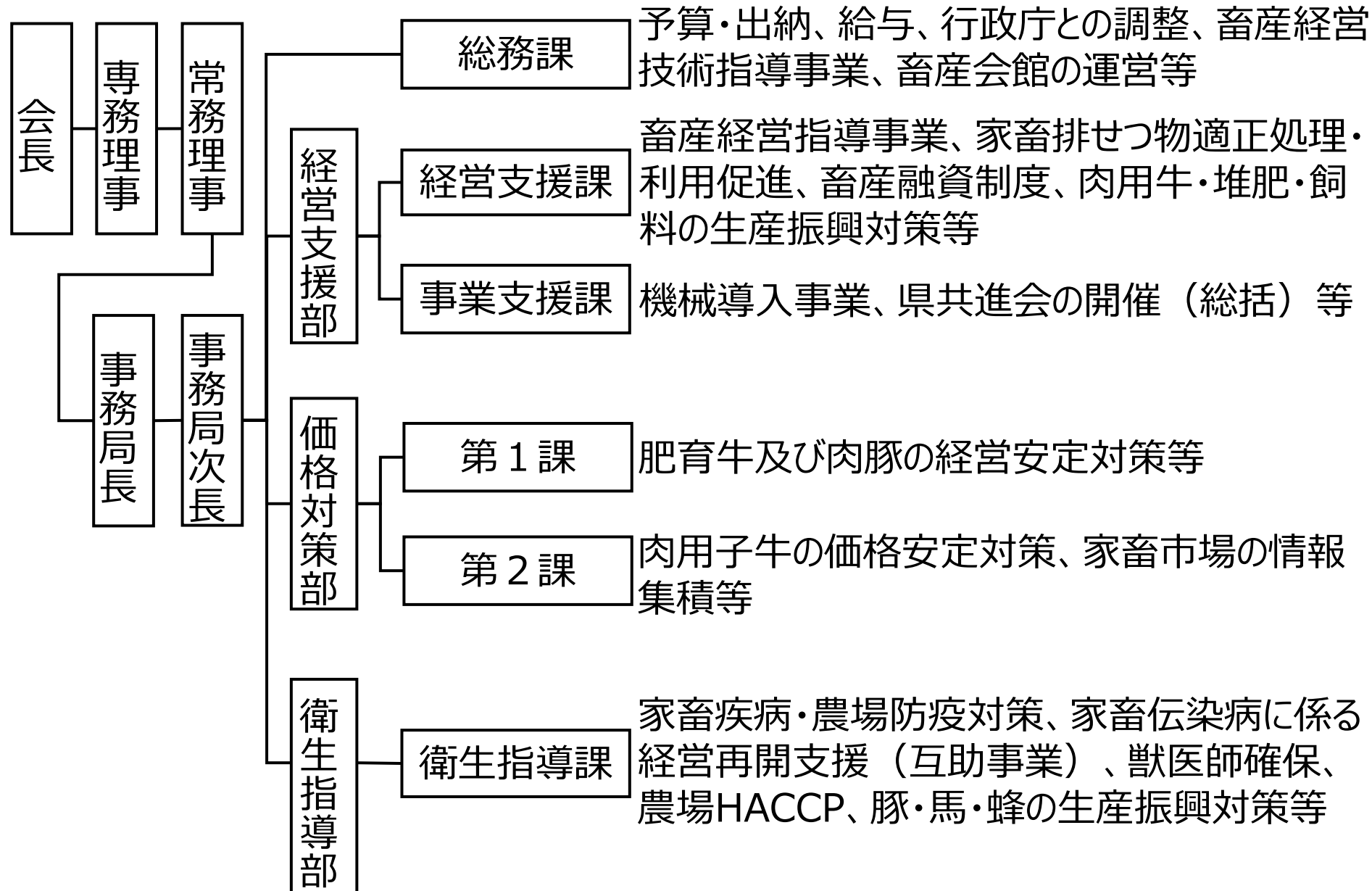
5 職員

- (1) 常勤役員 専務理事 1 名、常務理事 1 名
- (2) 職員 事務局長以下 29 名（嘱託・臨時・派遣を含む）

6 事業

- (1) 畜産経営、畜産技術及び家畜衛生の向上等に係る支援・指導に関する事業
- (2) 家畜・畜産物の価格変動により生じる畜産経営体への損失補てん、家畜の改良及び家畜取引の活性化に関する事業
- (3) 家畜・畜産物の生産・流通・消費に関する調査及び研究に関する事業
- (4) 一般消費者等へ畜産及び畜産物の各種情報提供、知識の普及・啓発に関する事業
- (5) 肉用子牛生産安定等特別措置法に基づく肉用子牛についての生産者補給金交付契約の締結、生産者積立金の積立、及び生産者補給金の交付に関する事業
- (6) 畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛についての肥育牛補てん金交付契約の締結、生産者負担金の積立、及び肥育牛補てん金の交付に関する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

組織図及び主な業務



畜産の収益性、持続性、社会的価値を高めるために必要な施設整備や機械導入等を支援。また、高齢の繁殖雌牛から若い繁殖雌牛への更新や、ICT関連機械の導入を支援。

1 畜産クラスター事業の内容

収益性向上タイプ

- 地域の関係者でクラスター協議会を構成し、**収益性の向上**を目指すクラスター計画を策定
 - * 1頭当たり販売額の増加、生産コストの低減、所得の増加といった成果目標を設定
- 計画に基づく施設整備や機械導入を支援

(主な変更内容)

- **酪農の成牛舎及び搾乳牛舎の整備**を支援。国産飼料基盤（北海道40ㇰ/頭、都府県10ㇰ/頭）を要件
- **酪農機械導入の増頭制限を廃止**

※酪農に係る要件は持続性向上タイプにも適用

持続性向上タイプ

～収益性に直ちに結びつかない取組も支援～

- **畜産の持続性や社会的価値の向上**を目指すクラスター計画を策定
 - * 国産飼料の生産・利用、雇用の創出、新規就農、アニマルウェルフェア、家畜衛生、鳥獣害防止といった成果目標を設定

- 計画に基づく施設整備や機械導入を支援
- 補改修や中古機械の導入も推進
- 収益性向上タイプの補助対象施設・機械に加え、目標の実現に必要な施設・機械も支援
(車両消毒ゲートや野生動物侵入防止柵・壁及び防除機械、ストレス軽減装置など)

2. 優良繁殖雌牛更新加速化事業の 3. ICT化等機械装置等導入事業の支援内容 奨励金交付単価

優良な繁殖雌牛 10万円/頭
遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛 15万円/頭

省力化のための機械・装置の導入を支援。
スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定を受けた場合、一体的な施設の補改修も支援。

《関係事業の実績等(令和7年度)》

		事業費 (補助金) (千円)	備考
畜産クラスター	機械導入※1	1,595,840 (797,920)	282戸 445件
	更新加速化	239,200 (239,200)	896戸 2,055頭
畜産IC		2,530 (1,150)	1戸 1台
楽酪GO		59,867 (27,212)	2戸 2台

※1 機械導入は予算配分額を示す

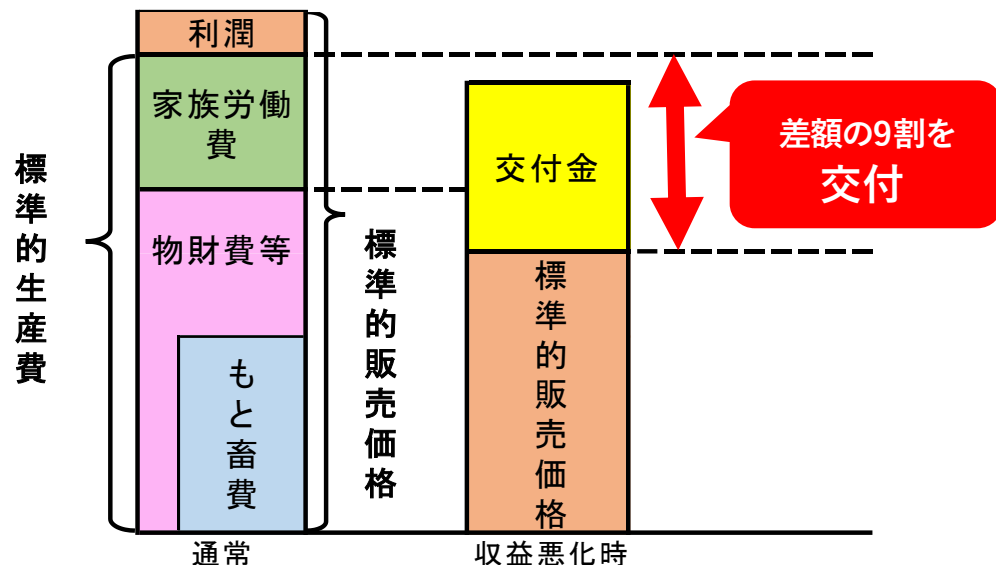
※2 畜産協会では申請等の窓口業務（委託事業）を実施

※ 農林水産省の資料を引用

牛マルキン制度

肥育牛経営の所得がマイナスと
なることが見込まれる場合、その
差額の9割を交付し、経営の継
続を支援する。

交付金は国の補助金（3/4）
及び生産者負担金（1/4）から支
払われる。



《牛マルキン制度の実施状況（令和7年度 契約者数357件）》

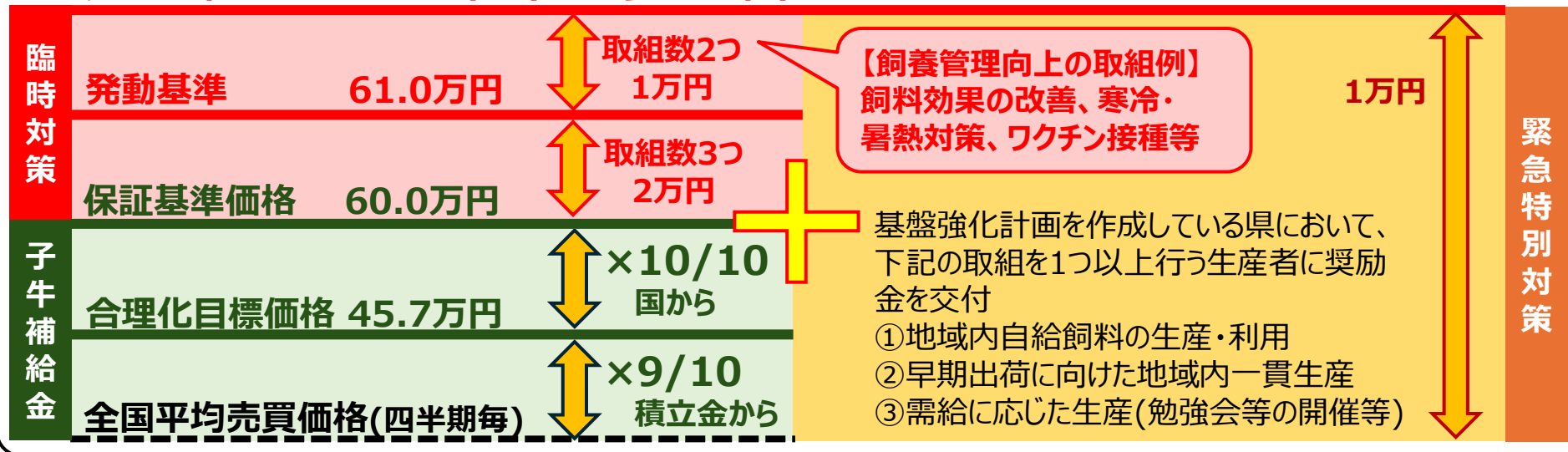
品種	登録頭数 (頭)	負担金単価(円)			交付状況		
		計	負担内訳		件数 (件)	頭数 (頭)	金額 (千円)
			生産者	宮崎県			
肉専用種	50,974	7,000	5,900	1,100	0	0	0
交雑種	14,454	17,000	16,600	400	97	3,437	28,436
乳用種	1,641	18,000	17,400	600	96	1,573	46,588
合計	67,069				193	5,010	75,025

参考：過年度の交付状況…【令和6年度】約18億円（うち肉専 約17億円）
【令和5年度】約40億円（うち肉専 約37億円）

肉用子牛対策

肉用子牛の平均売買価格（全国※緊急対策はブロック別）が発動基準を下回った場合に補てん金又は奨励金を交付する。

令和8年度：黒毛和種の場合



《肉用子牛生産者補給金の実施状況（令和7年度 契約者数3,850件）》

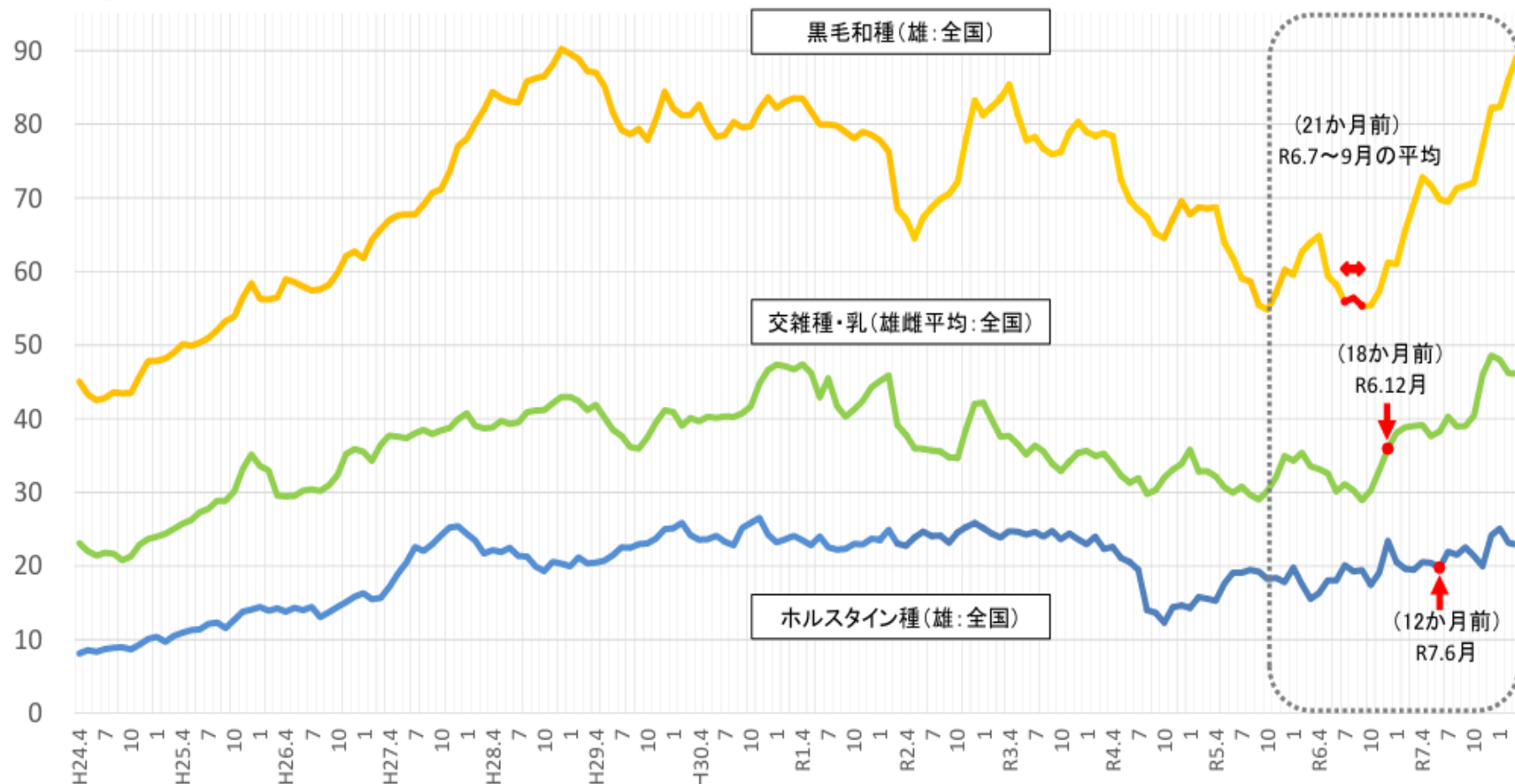
品種	登録頭数	積立金単価				交付状況
		計	機構	県	生産者	
黒毛和種	60,473	1,600	800	400	400	発動なし。ただし黒毛の緊急対策で、約1億3千万円を交付
褐毛和種	1	6,000	3,000	1,500	1,500	
乳用種	653	5,000	2,500	1,250	1,250	
交雑種	3,440	2,400	1,200	600	600	
合計	64,567					

参考：過年度の交付状況(緊急対策との合計)…【令和6年度】約38億円、【令和5年度】約27億円

(参考) 全国平均肉用子牛価格の推移

今回の交付金算定に用いるもと畜費
(R8.6月分)

(万円／頭、税込)



注1:【集計対象】＜旧条件(～R2.3)＞ 体重100～340kg、100～399日齢 ＜新条件(R2.4～)＞ 182～365日齢(体重要件なし)

注2: 肉用子牛取引情報のデータをグラフ化したものです。

※ 表示価格は税込み。牛マルキン交付金算定に用いるもと畜費の価格は税抜き。

※ 牛マルキンにおける肉専用種の交付金単価は、都道府県別の算出となるため、同算定におけるもと畜費の傾向とは必ずしも一致しない。なお、黒毛和種(雄:全国)は、毎月開催でない家畜市場があるため、都道府県別に四半期ごとの平均価格を算出。

※ 独立行政法人農畜産業振興機構の資料を引用

【自衛防疫関連】

農場防疫の強化

- ・ワクチン接種の推進：異常産4混(41千頭)、牛呼吸器5混(54千頭)等
- ・毎月20日「県内一斉消毒の日」の啓発
- ・飼養衛生管理基準の周知徹底



地域防疫・水際防疫の体制強化

- ・地域防疫の強化支援
⇒自防協議会等17団体
- ・水際防疫の強化支援
⇒水際団体2団体



地域自衛防疫推進協議会の支援

- ・自衛防疫事業に関する各種会議の開催
- ・26自衛防疫組織の体制強化支援(事業推進費の交付)
- ・各自防推進協議会が実施した防疫演習に対して経費助成(消毒薬、防疫資材、講演会講師旅費等)



事務局の受託

- ・みやざき養豚生産者協議会 (MPC)
- ・宮崎県養蜂組合
- ・宮崎県馬事畜産振興協議会 等

【衛生指導関連】

飼養衛生管理の強化

- ・農場HACCP認証の取得支援
- ・馬の飼養環境把握並びに研修会等の実施



地域の衛生レベルの強化

- ・特定疾病の発生低減・まん延防止
豚繁殖・呼吸器障害症候群 (PRRS) の検査費助成等
- ・野生獣 (イノシシ・シカ) のウイルス保有状況調査



【その他】

家畜防疫互助基金支援事業

互助金交付対象伝染病：口蹄疫、豚熱、
アフリカ豚熱、牛疫、牛肺疫
【契約戸数】3,949戸（1,063千頭、162百万円）

獣医師の確保対策

- ＜就学資金給付（国・県）＞
- ・継続7名、新規7名に計19,899千円給付
- ＜インターンシップ助成（県）＞
- ・本県獣医職域機関での就業体験18名へ補助

アジアにおける口蹄疫の発生報告状況（2019年以降）

2026年8月24日時点

パキスタン (A, O, Asia1型)
 2019年 件数不明
 2020年 件数不明
 2021年 件数不明
 2022年 件数不明
 2023年 件数不明
 2024年 件数不明
 2025年 件数不明

モンゴル (O, SAT1型)
 2021年 102件
 2022年 5件
 2025年 3件
 2026年 4件 (うち2件はSAT1型)

ロシア (東アジアの近接地域に限る) (O型)
 2019年 17件
 2020年 1件

ネパール (A, O型)
 2019年 106件
 2020年 23件
 2021年 40件
 2022年 66件
 2023年 34件
 2024年 40件
 2025年 22件

ブータン (O型)
 2019年 13件
 2020年 3件
 2021年 24件
 2022年 3件

中国 (O, SAT1型)
 2019年 6件
 2020年 4件
 2022年 1件
 2023年 4件
 2024年 3件
 2025年 3件
 2026年 2件 (SAT1型)

韓国 (O型)
 2019年 3件
 2023年 11件
 2025年 19件
 2026年 9件

香港 (O型)
 2019年 7件

インド (A, O, Asia1型)
 2019年 132件
 2020年 88件
 2021年 105件
 2022年 103件
 2023年 49件
 2024年 93件
 2025年 39件

タイ (A, O型)
 2019年 191件
 2020年 203件
 2021年 47件
 2022年 108件
 2023年 15件
 2024年 2件

カンボジア (A, O型)
 2019年 33件
 2021年 41件
 2022年 24件
 2023年 16件
 2025年 16件
 2026年 9件

ベトナム (A, O型)
 2019年 23件
 2020年 63件
 2021年 33件
 2022年 17件
 2023年 25件
 2024年 44件
 2026年 3件

ミャンマー (A, O型)
 2019年 20件

スリランカ (O型)
 2019年 81件
 2020年 42件
 2021年 36件
 2022年 67件
 2023年 1件

ラオス (O型)
 2019年 53件

マレーシア (A, O型)
 2019年 35件
 2020年 51件
 2021年 21件
 2022年 28件
 2023年 8件
 2024年 15件
 2025年 6件
 2026年 1件

インドネシア (O型)
 2022年 件数不明 (19州)
 2023年 件数不明
 2024年 件数不明
 2025年 件数不明
 2026年 件数不明

発生国

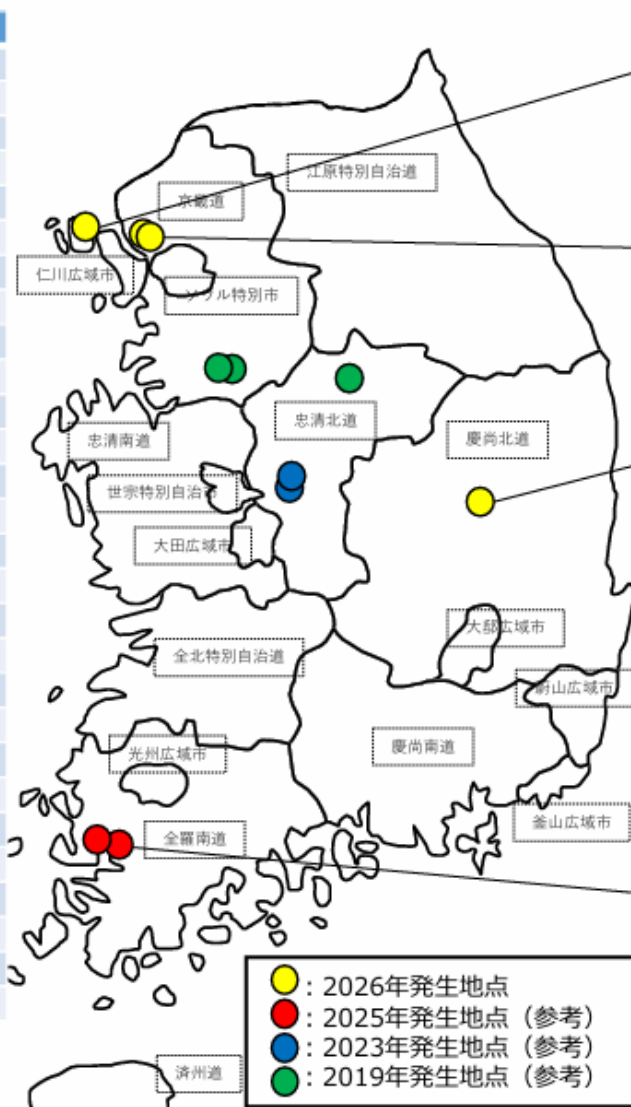
出典：WOAH-WAHIS等、各国当局HP

() 内は2019年以降に発生の確認された血清型

※一部の国についてはWOAHへの定期報告を元に行っているため、最新のデータが反映されていない。発生報告をもとに作成したものであり、必ずしも現在も発生が継続していることを示すものではない（すでに清浄化した地域を含む場合もある）。

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年3月以降）

	発生日	場所	動物種	飼養頭数
1	'25/3/13	全南 靈岩郡	牛	184
2	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	15
3*	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	471
4	'25/3/14	全南 靈岩郡	牛	31
5	'25/3/15	全南 務安郡	牛	88
6	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	365
7	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	25
8	'25/3/17	全南 靈岩郡	牛	100
9	'25/3/18	全南 靈岩郡	牛	49
10	'25/3/18	全南 靈岩郡	牛	25
11	'25/3/19	全南 靈岩郡	牛	125
12	'25/3/19	全南 靈岩郡	牛	835
13	'25/3/20	全南 靈岩郡	牛	43
14	'25/3/23	全南 靈岩郡	牛	31
15	'25/4/10	全南 務安郡	豚	5,223
16	'25/4/10	全南 務安郡	豚	1,736
17	'25/4/12	全南 務安郡	豚	1,951
18	'25/4/12	全南 務安郡	豚	1,931
19	'25/4/13	全南 務安郡	豚	3,216
20	'26/1/30	仁川 江華郡	牛	246
21	'26/2/20	京畿 高陽市	牛	130
22	'26/2/28	京畿 高陽市	牛	168
23	'26/7/3	慶北 醴泉郡	豚	5,500
24	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	186
25	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	81
26	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	130
27	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	39
28	'26/7/3	慶北 醴泉郡	牛	72



仁川広域市（1件）
2026年1月30日
江華郡 牛：1件（O型）

京畿道（2件）
2026年2月20日
高陽市 牛：1件（O型）
2026年2月28日
高陽市 牛：1件（O型）

慶尚北道（6件）
2026年7月3日
醴泉郡 豚：1件（O型）
牛：5件（O型）

全羅南道（19件）
2025年3月13日（確定日は14日）
靈岩郡 牛：1件（O型）
2025年3月14日（確定日は15日）
靈岩郡 牛：3件（O型）
2025年3月15日（確定日は16日）
務安郡 牛：1件（O型）
2025年3月17日
靈岩郡 牛：3件（O型）
2025年3月18日
靈岩郡 牛：2件（O型）
2025年3月19日
靈岩郡 牛：2件（O型）
2025年3月20日
靈岩郡 牛：1件（O型）
2025年3月23日
靈岩郡 牛：1件（O型）
2025年4月10日
務安郡 豚：2件（O型）
2025年4月12日
務安郡 豚：2件（O型）
2025年4月13日
務安郡 豚：1件（O型）

2026年7月6日時点
農林水産省動物衛生課

*関連農場2農場（いずれも検査陽性）あり。

出典：韓国農林畜産食品部、WOAH

注：日付はWOAH報告の発生日

頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

みんなの暮らしと地方競馬



KEIBA ♥ CHIKUSAN

けいば らぶ ちくさん
KEIBA ♥ CHIKUSAN とは？

馬事および畜産振興に寄与している地方競馬を支援し、
地方競馬と畜産の振興や畜産物の消費拡大を目的とした
様々な活動を実施するプロジェクトです。

地方競馬は日本の畜産を応援します

銘柄和牛が当たる キャンペーン 実施中

動画を見てアンケートに答えるだけ！ 第3期 8/3(月) ▶ 9/29(火)

令和6年度の主催者収益金は、地域の教育・文化の発展や社会福祉の増進、医療の普及やスポーツの振興、都市計画その他公共施設の整備などに使われ、地域の暮らしに役立っています。

【畜産振興補助事業】

地方競馬全国協会(NAR)では、馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与するため、地方自治体が主催する地方競馬の売上金の一部を活用し、重種馬(ばんえい向けを含む)の繁殖奨励や畜産農家の経営技術指導、家畜防疫衛生推進などの事業に補助を行っています。

